



Softfront Report

2011年3月期 第2四半期累計期間
(2010年4月1日～9月30日)

トップメッセージ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2011年3月期第2四半期の決算についてご報告いたします。

当第2四半期累計期間(2010年4月1日～9月30日)の業績は、売上高301百万円、営業損失91百万円、経常損失91百万円、四半期純損失92百万円となりました。

当期は「ライセンスビジネスの成功」に向けた新たな中期経営方針に基づき、「収益基盤拡大」と「黒字体質への転換」の課題に対して、安定した収益を確保できる事業分野の創出・拡大と業績変動に応じた柔軟な費用構造化に取り組んでおります。

これらの活動を受け、業績数値面では、ソフトウェア販売が好調で、売上高において当初の業績予想を上回り、前年同期に比較して増収となりました。全社的に推し進めている経費削減についても一定の成果が得られ、増収と合わせて損益の改善に大きく寄与しております。

事業面では、「フレッツ 光ネクスト」の「ひかり電話」でのデータ通信サービス「データコネク」に対応した「SUPREE Vision Premier Pro app-data edition」や「ひかり電話」に接続するT.38対応IP-FAXライブラリの提供開始、イスラエルのラドビジョン社との業務提携などの成果を出すことができました。

以上のように数値面でも事業面でも、今期の目標である通期の黒字達成に向けては、順調なスタートを切ることができました。今後の見通しに関しては、円高基調にある国内の経済動向の不透明な要素もあり、まだまだ、予断を許す状況ではないと認識しておりますが、当社事業に関連する分野では、NGN(Next Generation Network)でのサービスメニューの拡充、WiMAXやLTE(Long Term Evolution)などの高速な移動通信環境の進展、スマートフォン需要の伸びなどが期待されます。

このような市場環境の中、中期経営方針のもと、通期における黒字化の達成に向け、全社一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2010年10月29日
代表取締役社長

阪口克彦

営業概況

当第2四半期累計期間(2010年4月1日～9月30日)におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向が見られたものの、海外経済の減速や円高による企業マインド面への影響などを背景に、改善の動きが弱まっており、先行きについても、需要刺激策の効果の減衰などから景気改善の鈍化した状況がしばらく続いた後、緩やかに回復していくと考えられております。

このような経済環境の下、当社事業に係る通信関連分野では、NGNでのサービスメニューの拡充(「ひかり電話」のデータ通信サービス「データコネクト」の導入)、携帯電話において高速通信を可能とするLTE技術の新規導入準備、スマートフォン需要の顕在化などにおいて進展が見られるものの、設備投資の回復のペースは依然として緩やかな状況にあります。

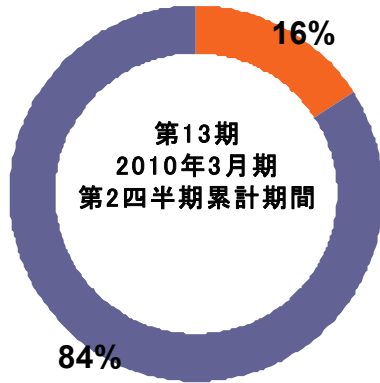
これらの市場環境の下、当社の第2四半期累計期間の業績は、売上高301,212千円、営業損失91,931千円、経常損失91,465千円、四半期純損失92,490千円となりました。

売上高につきましては、**電力系通信事業者向けシステム・インテグレーション分野の受注が好調であったこと**などにより、前年同期比37.4%増と前年同期実績を81,993千円上回る増収となりました。売上原価につきましては、主に**受託開発案件に対応するための外注加工費の削減や減価償却費の減少**により、176,295千円(前年同期比9.5%減)と減少し、また、販売費及び一般管理費につきましても、NGN対応SIP関連ソフトウェア開発を中心とした研究開発費などが増加したものの、**第1四半期会計期間より業績連動型賞与制度に完全移行したことによる人件費の減少及び全般的な経費削減を進めたこと**などにより、216,848千円(前年同期比17.6%減)と減少しております。このように、増収と経費削減の推進により、**損益は改善され、当初の業績予想を上回った状況**であります。

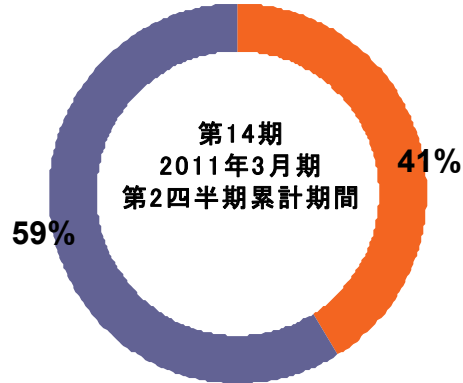
引き続き、2011年3月期通期業績予想の達成に向けて、当社では収益基盤の拡大に向けて、安定した収益を確保できる分野の創出、拡大に努め、ライセンスビジネスに重点をおいた事業展開を図ってまいります。また、業績の変動に対応し、黒字が確保できる柔軟なコスト構造への転換を図り、長期的に拡大していくことが確実な市場において、着実に果実を得るよう事業を進捗させてまいります。

財務ハイライト-1

■ 売上高の構成

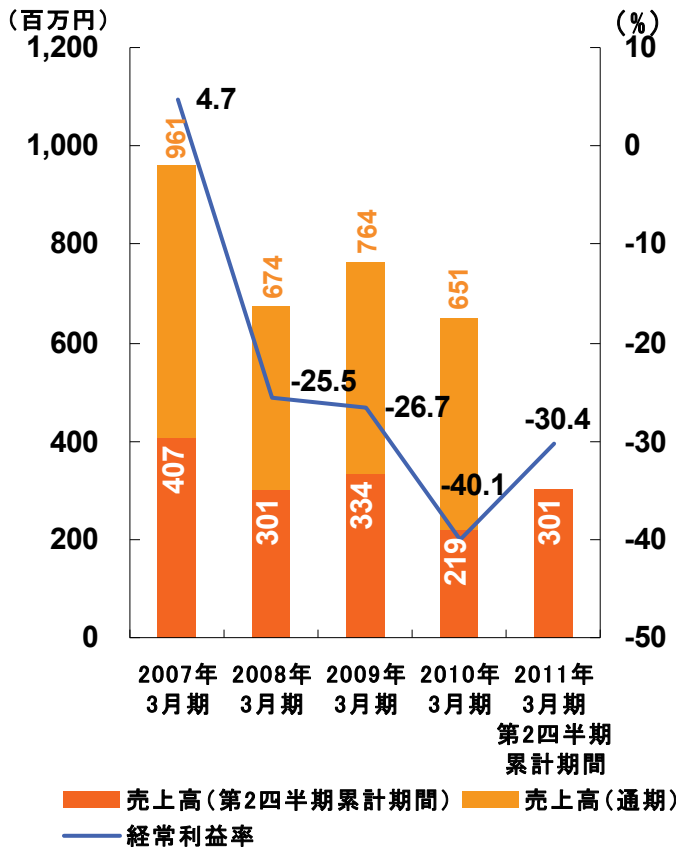


■ ソフトウェア販売 ■ 受託開発

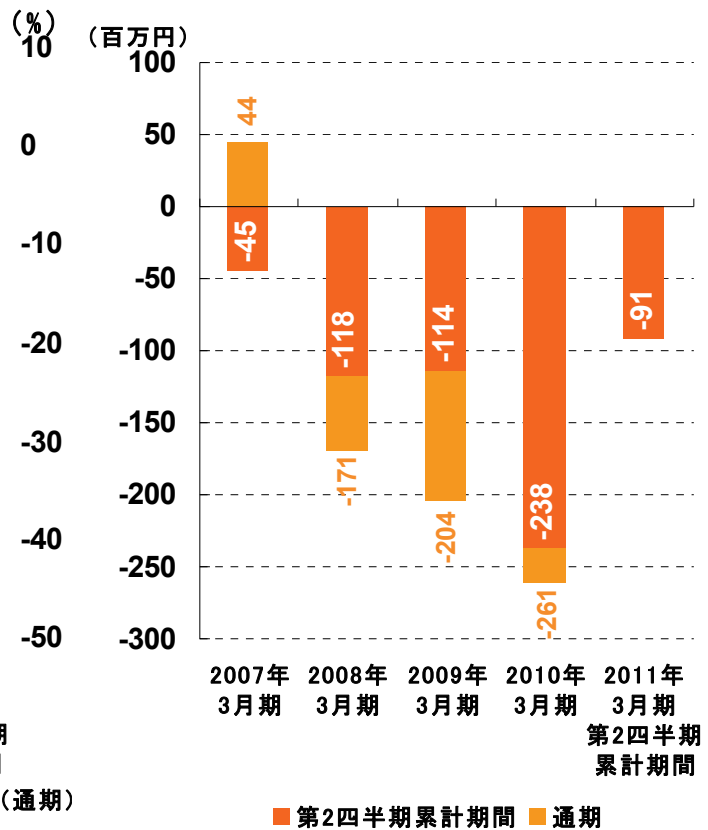


■ ソフトウェア販売 ■ 受託開発

■ 売上高／経常利益率



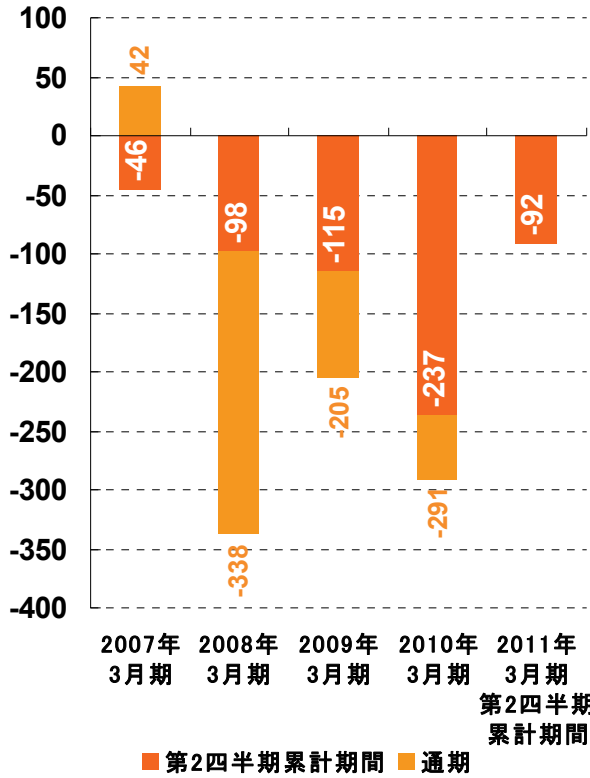
■ 経常損益推移



財務ハイライト-2

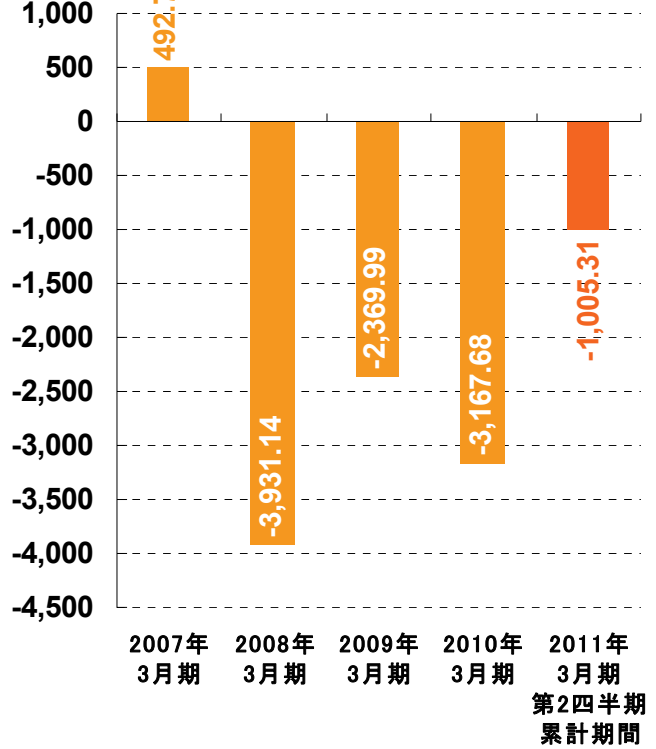
純損益推移

(百万円)



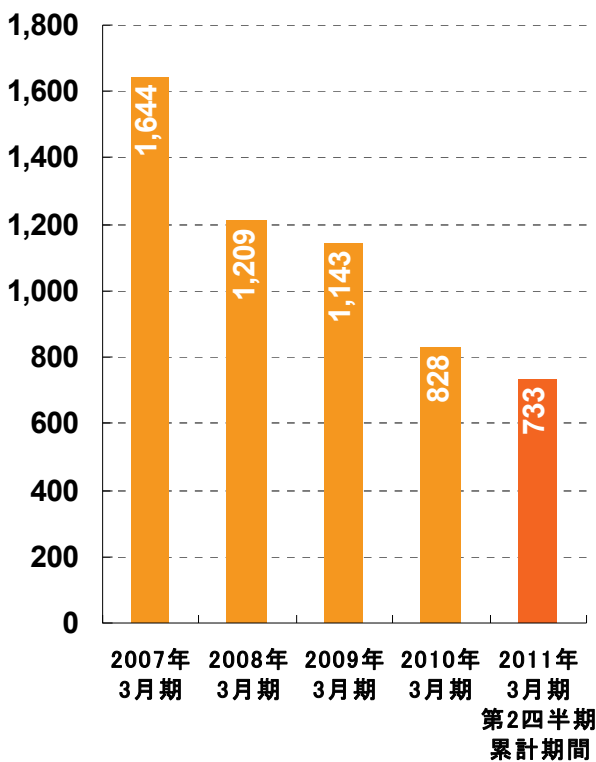
1株当たり純損益

(円)



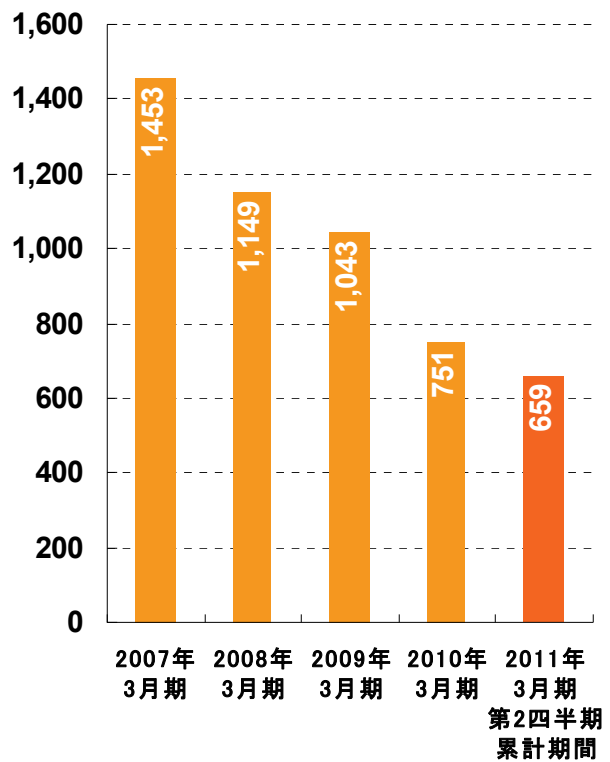
総資産

(百万円)



純資産

(百万円)



財務諸表

■ 四半期貸借対照表

	当第2四半期 会計期間末 2010年9月30日	前第2四半期 会計期間末 2009年9月30日	前事業年度末 2010年3月31日
(単位:千円)			
資産の部			
I 流動資産	567,072	661,537	669,140
II 固定資産	166,313	213,202	159,033
有形固定資産	16,843	17,797	15,635
無形固定資産	101,195	149,079	97,172
投資その他の資産	48,274	46,325	46,226
資産合計	733,385	874,740	828,174
負債の部			
I 流動負債	74,168	69,591	76,465
負債合計	74,168	69,591	76,465
純資産の部			
I 株主資本	659,217	805,149	751,708
資本金	2,792,479	2,792,479	2,792,479
資本剰余金	2,574,639	2,574,639	2,574,639
利益剰余金	△ 4,707,901	△ 4,561,969	△ 4,615,410
純資産合計	659,217	805,149	751,708
負債純資産合計	733,385	874,740	828,174

財務諸表

■ 四半期損益計算書

	当第2四半期 累計期間 2010年4月 1日- 9月30日	前第2四半期 累計期間 2009年4月 1日- 9月30日	前事業年度 2009年4月 1日- 2010年3月31日
(単位:千円)			
I 売上高	301,212	219,219	651,849
売上原価	176,295	194,698	432,221
II 売上総利益	124,917	24,521	219,627
販管費及び一般管理費	216,848	263,030	481,241
III 営業損益	△91,931	△ 238,509	△ 261,613
営業外収益	465	435	487
営業外費用	-	-	64
IV 経常損益	△91,465	△ 238,073	△ 261,190
特別利益	278	1,291	1,647
特別損失	93	-	29,470
V 税引前四半期(当期)純損益	△ 91,280	△ 236,782	△ 289,013
法人税、住民税及び事業税	1,210	1,210	2,420
VI 四半期(当期)純損益	△92,490	△ 237,992	△ 291,433

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書

	当第2四半期 累計期間 2010年4月 1日- 9月30日	前第2四半期 累計期間 2009年4月 1日- 9月30日	前事業年度 2009年4月 1日- 2010年3月31日
(単位:千円)			
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	59,239	△ 28,075	△ 121,543
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,372	△ 33,655	△ 67,568
III 現金及び現金同等物の増減額(△:減少)	17,867	△ 61,730	△ 189,112
IV 現金及び現金同等物の期首残高	335,802	524,915	524,915
V 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	353,669	463,184	335,802

株式の状況

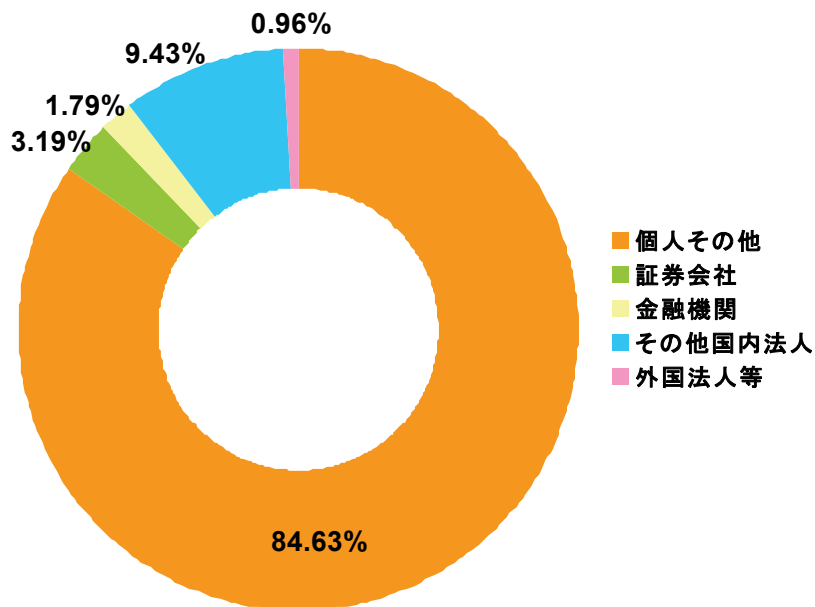
株式の状況

(2010年9月30日現在)

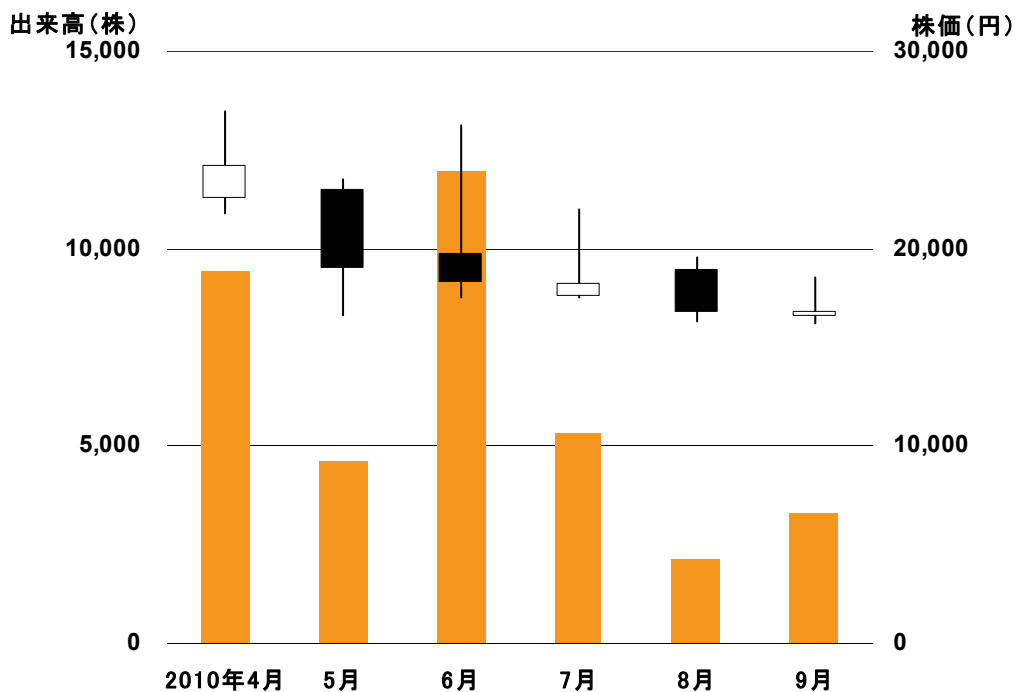
発行可能株式総数 : 324,400株

発行済株式数 : 92,002株

株主数 : 4,455名



株価・出来高推移状況





東京本社

〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目2-19

赤坂SHASTA・EAST 3F

TEL:03-3568-7007 FAX:03-3568-7008

札幌本社

〒060-0009 札幌市中央区北9条西15丁目28-196

札幌ITフロントビル 3F

TEL:011-623-1001 FAX:011-623-1002